

改革プラン以外の取り組み

○事務・事業の改善・見直し

年度	実施項目	取 組 内 容
22	小城市飲料水自動販売機設置の見直し	平成22年4月1日から平成25年3月31日までの3年間、市施設に飲料水自動販売機を設置する事業者の一般競争入札を実施した。 3事業者7ヶ所 【収入増加額：1,605,186円】 小城公民館（1台）、小城市生涯学習センター（3台）、牛津公民館（1台）、牛津総合公園管理棟南（1台）、牛津総合公園管理棟東（1台）
	消防積載車、小型動力ポンプの売却	平成22年4月 消防積載車（H元年度式）3台、小型動力ポンプ（S57年度式1台、H元年度式2台）3台を一般競争入札で売却した。 【売却額：377,800円】
	まちづくり支援自販機の設置	コカ・コーラウエスト（株）社の協力で市内11ヶ所に自販機を設置した。 売上金の一部を市に寄付していただいた。 【22年度収入 1,164,856円】 三日月町民グラウンド、小城公民館ホール、ドゥイング南側公園、芦刈グラウンド、自楽園グラウンド、小城公園元気広場、三王崎公園、三日月庁舎西側外、小城庁舎、中継センター、小城公園西側駐車場
23	市内巡回バス等に有料広告募集	市内を巡回するバス（小城町巡回バス、三日月町巡回バス、広域循環バス）に有料広告を募集し財源確保を図った。 広告掲載料（月額）2,000円 【23年度収入額：108,000円】
	資源ごみ抜き取り禁止の強化	集積所（コンテナ）に集められた資源ごみの抜き取り禁止の呼び掛けを強化し、ステッカー貼り付け、警察と連携した監視・指導を実施した。その結果、金属資源収集量が対前年比189%になった。

○行政サービスの提供

年度	実施項目	取 組
22	小城市指定の家庭用燃えるごみ袋の変更	平成22年4月から小城市でゴミ収集することになったため指定袋のサイズを3種類に増やし、ロール状にすることで収納しやすくした。また、21年度中に市指定ごみ袋に掲載する有料広告の募集を行い自主財源を確保した。 【21年度広告収入：560千円】
	あんま・はり・きゅう施術料助成事業の事業所拡大	これまで指定していた小城市内、佐賀市、多久市、江北町の事業所の他に唐津市、白石町でも助成券が利用できるようにエリアを拡大し利用者の利便性を向上させた。
23	病児・病後児保育室の拡大	病気回復期の子供（生後2ヶ月から小学校3年生まで）を一時的に預かる施設として病院に併設した病児・病後児保育室（従前：佐賀市香月医院「かるがものへや」、橋野子どもクリニック「ぞうさん保育室」）に新たに江北町古賀医院「スマイルルーム」を加え、利用者の利便性を向上させた。
	買い物支援事業の開始	市内事業者の協力を得て、電話等での注文に応じた商品の配達などの買い物支援事業を開始した。配達料やサービス内容は各事業者で異なり、買い物弱者といわれる高齢者に限らずだれでも利用できる。（登録事業者58件）
	各行政区での市長と語る会開催	従来小学校校区（8校区）で開催していた「市長と語る会」を平成23年5月から各行政区（181行政区）に地区担当職員とともに訪問し、小城市の状況、地域の問題点の意見や要望、市政問題の話し合いの場として情報交換を行い、地域の新たな発見や今後の事業展開の参考にした。